

令和3年度一般会計・特別会計・公営企業会計の決算のあらましを、一般会計を中心にお知らせします。
 詳しい資料は、市ホームページや各コミュニケーションセンター、図書館で閲覧できます。



市ホームページ

1 決算収支

一般会計と特別会計

区分	歳入	歳出	収支
一般会計	249億5,269万円	245億8,818万円	3億6,451万円
国民健康保険事業特別会計	58億4,030万円	56億2,318万円	2億1,712万円
後期高齢者医療特別会計	10億2,494万円	9億9,525万円	2,969万円
介護保険事業特別会計	44億3,057万円	43億5,525万円	7,532万円
住宅新築資金等貸付事業特別会計	1,097万円	1万円	1,096万円
工業団地整備事業特別会計	830万円	0万円	830万円

公営企業会計

区分	収入	支出	収支	
下水道事業会計	収益的	17億3,520万円	16億8,470万円	5,050万円
	資本的	9億4,068万円	14億214万円	▲4億6,146万円

2 一般会計

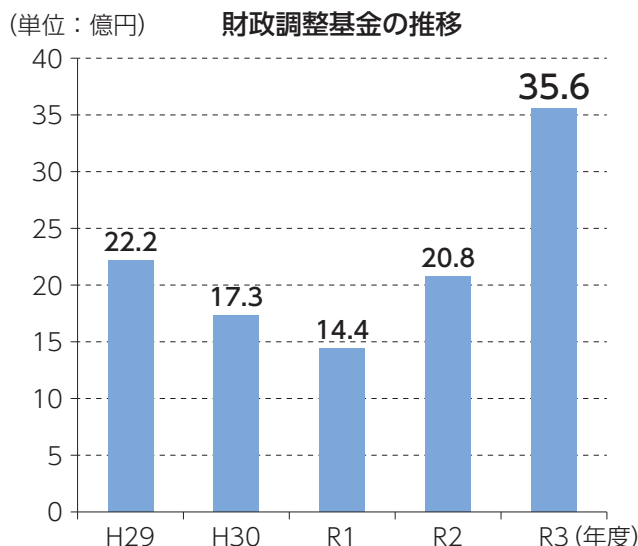
市税・地方交付税などの増収で 財政調整基金残高35億円超へ

令和3年度一般会計決算の実質収支は、3億1,058万円の黒字でした。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で令和2年度に落ち込んでいた市税が回復しつつあることや、地方交付税、地方特例交付金、地方消費税交付金などの増収により、令和3年度は一般財源が増加しました。

そのため、緊急財政対策計画による健全化のための取組の成果などと合わせ、財政調整基金を14億7,589万円積み立てることができました。

これにより令和3年度末の財政調整基金の残高は35億5,950万円となり、平成27年度以来の30億円台となりました。



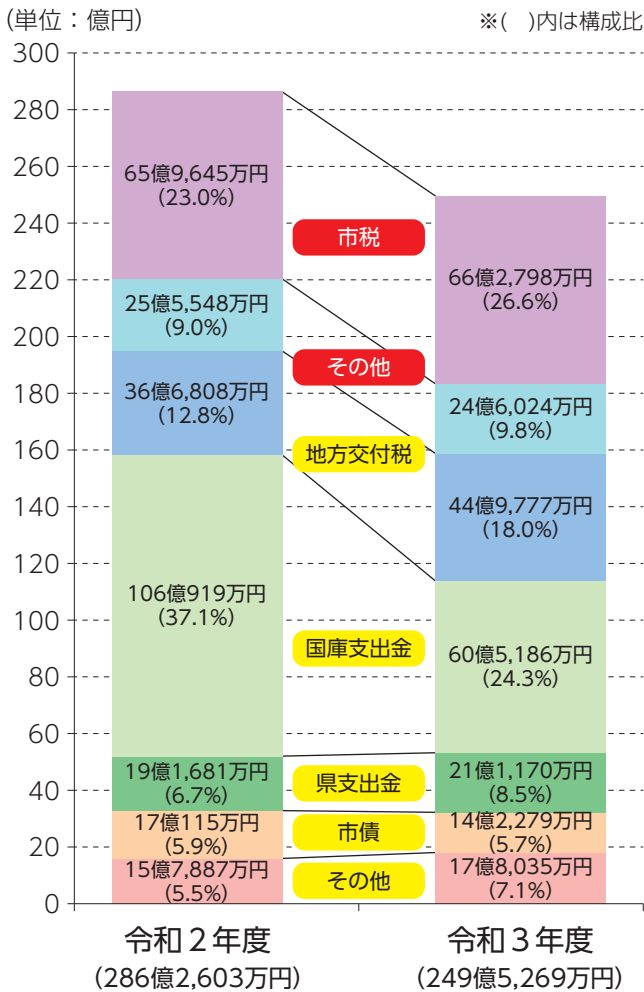
Q 財政調整基金って？

A 年度間で生じる財源の不均衡を調整するための基金です。災害などの不測の事態に備え、財源に余裕がある年度に積立しておきます。



1 歳 入

歳入総額249億5,269万円 (前年度比 36億7,334万円減)



【左図の赤色枠】 自主財源

市が独自で調達するお金で主なもの市税です。自主財源が決算に占める割合は、前年度の32.0%から36.4%となりました。

【左図の黄色枠】 依存財源

国・県などの意思により交付されるお金で自主財源以外です。依存財源が決算に占める割合は、前年度の68.0%から63.6%となりました。(特別定額給付金事業終了のため減)

増加要因

◎地方交付税 8億2,969万円増

普通交付税が25.8%、特別交付税が5.7%増加

◎県支出金 1億9,489万円増

被災園芸農家経営安定緊急対策事業費補助金の交付などにより増加

減少要因

◎国庫支出金 45億5,733万円減

特別定額給付金事業終了などによる減少

◎市債 2億7,836万円減

普通建設事業の実施状況に伴い、借入金である市債が減少

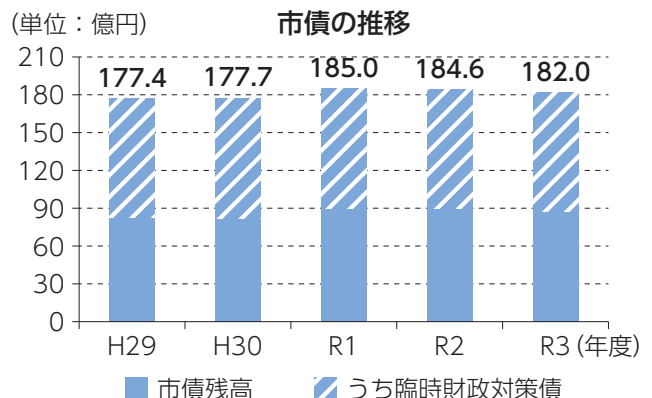
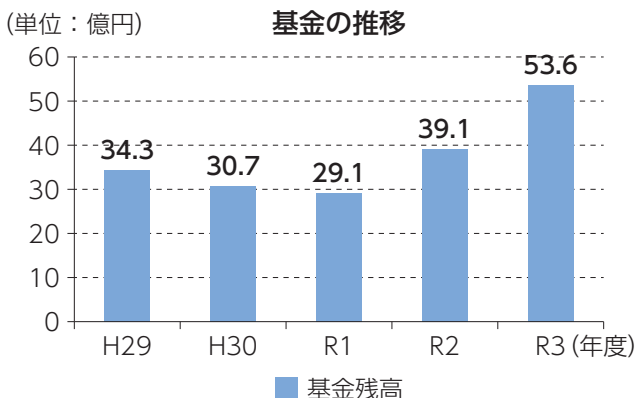
市の貯金 53億6,297万円 前年度比 +37.1%
(市民一人当たり 90,500円)

家庭の家計でいう貯金を「基金」といいます。財政調整基金を含む基金全体の積立額は令和3年度から14.5億円増加しました。地方税、地方交付税、地方特例交付金、地方消費税交付金などの増収により一般財源が増額となり、財政調整基金へ14.8億円積み立てることができました。

市の借金 181億9,915万円 前年度比 ▲1.4%
(市民一人当たり 307,112円)

道路・交通安全施設や公園、教育施設(学校、スポーツ・文化施設など)を整備するときに、市が借り入れたお金(家庭の家計でいう借金)を「市債」といいます。市債は、世代間の負担の公平化を図る役割を持っています。

令和3年度は、14.2億円の借入れに対し、16.8億円の元金償還を行いました。



※市民1人当たりの額は、各年度の3月31日現在の住民基本台帳登録人口をもとに計算しています

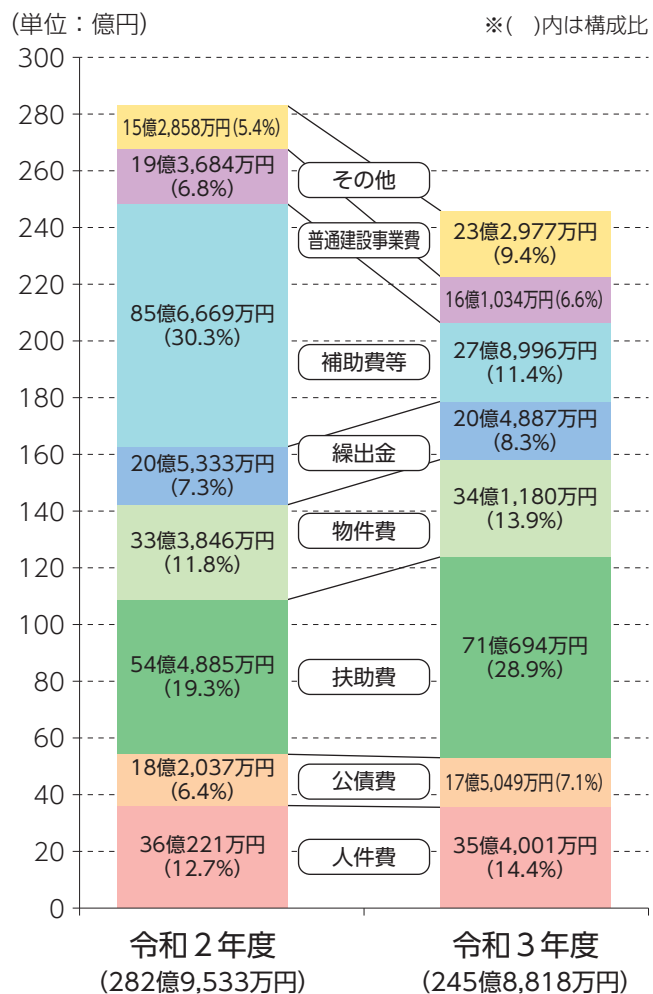
2 歳 出

歳出総額245億8,818万円 (前年度比 37億715万円減)

性質別経費

令和2年度に実施した特別定額給付金事業の終了などにより、補助費等が57億7,673万円の減(▲67.4%)となりました。

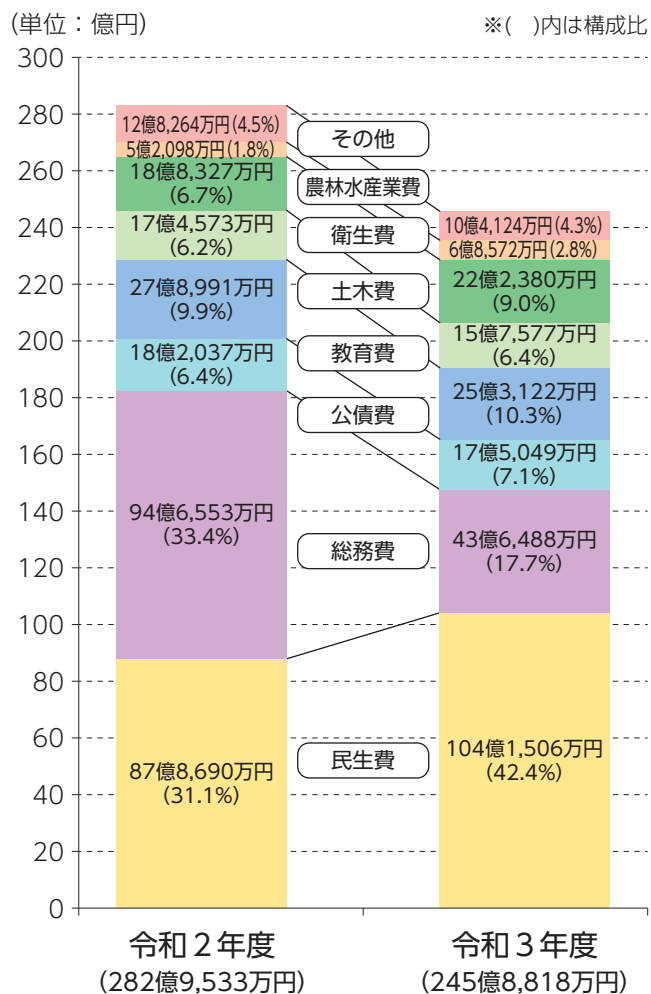
また、扶助費が16億5,809万円の増(+30.4%)となりました。



目的別経費

令和2年度の特別定額給付金事業の終了などにより、総務費が51億65万円の減(▲53.9%)となりました。

また、子育て世帯への臨時特別給付金事業や私立保育園整備事業などの実施により、民生費が16億2,816万円の増(+18.5%)となりました。



種類	内容
【人件費】	職員や特別職の給与、議員や各種委員会委員の報酬など
【扶助費】	生活保護費、児童手当、医療費など
【物件費】	委託料、光熱水費、備品購入費など
【補助費等】	各事業や団体への補助金や負担金など
【普通建設事業費】	道路・橋梁などの整備や公共施設の新設増改築など

種類	内容
【総務費】	課税徴収、選挙など市の総括的な事務
【民生費】	子ども・高齢者・障がい者などの福祉全般
【衛生費】	感染予防、母子保健や環境保全、ごみ処理など
【土木費】	都市基盤整備や道路、公園、河川などの維持管理改良など
【教育費】	小・中学校の運営費用や図書館など教育全般(文化・スポーツ含む)
【公債費】	借り入れたお金の返済

令和3年度一般会計決算を 年間収支600万円程度の家計に置き換えてみました



支出	前年度比
食費 (人件費)	89万円 (▲1万円)
医療費・養育費 (扶助費)	178万円 (+42万円)
ローン返済 (公債費)	44万円 (▲2万円)
家の増改築など (投資的経費)	41万円 (▲8万円)
家や車の補修 (維持補修費)	3万円 (±0万円)
子どもへの仕送り (繰出金)	64万円 (+2万円)
保険料など (補助費等のうち一部事務組合負担金)	27万円 (▲1万円)
光熱水費・通信費・雑費など (物件費)	85万円 (+2万円)
区費やサークル・会合への会費など (補助費等) ※特別定額給付金事業の終了により大幅減	29万円 (▲147万円)
貯金 (積立金)	54万円 (+21万円)
その他支出 (投資及び出資金)	1万円 (±0万円)
合計	615万円 (▲92万円)

収入	前年度比
給料 (市税)	166万円 (+1万円)
給料(諸手当) (地方交付税や地方譲与税など各種交付金)	156万円 (+24万円)
実家からの援助(国・県補助金) ※特別定額給付金事業の終了により大幅減	204万円 (▲109万円)
パート・家賃収入 (分担金・負担金・手数料・使用料)	12万円 (±0万円)
貯金の取崩 (繰入金)	17万円 (+4万円)
銀行からの借入 (市債)	36万円 (▲7万円)
雑収入 (財産収入・諸収入・寄附金)	25万円 (▲7万円)
前年度からの繰越 (繰越金)	8万円 (+2万円)
合計	624万円 (▲92万円)

※貯金残高 134万円(+36万円)
※ローン残高 455万円(▲7万円)

3 令和3年度の主な事業

◎サプライヤー等一時(月次)支援金給付事業(事業費 4,517万円)

緊急事態宣言などに伴う時短営業や不要不急の外出・移動の自粛で影響を受け、売上が減少した事業者に対して一時支援金・月次支援金を支給し、事業継続を支援しました。

◎GIGAスクール構想事業(事業費 5,382万円)

小・中学校13校にICT支援員を巡回で派遣し、児童生徒・職員にICT機器の活用支援を行いました。
また、児童生徒に1人1台端末と通信ネットワークを整備した令和2年度に続き、令和3年度は不足していた正規教職員と常勤講師へのタブレット端末の整備を行いました。

◎公園施設長寿命化事業(事業費 3,039万円)

公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化した遊具の更新を行い、公園の安全性・快適性の向上を図りました。
(実施した公園：井ノ浦公園、一ノ口公園、勝負坂公園、鍋倉公園、三ツ枝公園)

◎私立保育園整備事業(事業費 1億57万円)

待機児童解消のため小郡中央保育園分園の園舎の建替えを行うにあたり、2か年にわたり補助金を支給しました。同保育園の0～2歳児保育の定員が20人増え、50人と拡大しました。